

計算機システムの利用開始と終了

増原 英彦

1 教育用計算機システムの利用手順

1.1 ログイン (HWB4.1)

1. iMac 端末の本体背面にあるボタンを押し、電源を入れる。
2. 青地に白い四角があり、中に銀色の林檎の絵と「Mac OS X」が表示される画面が出てくるまで待つ。
3. 「Name:」と書かれた右の欄に「ユーザ名」をタイプし、最後に`Enter`をタイプする。ユーザ名は「g」の後に学生証番号を付けたものである。学生証番号が 123456 であれば「g123456」となる。
タイプする文字を間違えた場合は`BS`と書かれたキーをタイプして修正する。アルファベットの「0(オー)」と数字の「0(ゼロ)」の違いに注意。
4. 「Password:」と書かれた右の欄が青色で囲まれたら、アカウント用紙に記入されているパスワードを入力し、最後に`Enter`をタイプする。
この際、「0(大文字のオー)」と「o(小文字のオー)」と「0(ゼロ)」や「1(小文字のエル)」と「1(イチ)」などは間違えやすいので注意せよ。また、大文字は`Shift`と書かれたキーを押さえながら文字キーをタイプする。
タイプした文字は表示されずに「...」のように表示されるので、タイプミスをしたと思った場合は`BS`キーで、一度全て消してから入力し直すといよい。
5. しばらく待つと、青一面の画面に変わる。これがログインに成功した状態である。失敗した場合は、4 からやり直しになる。

1.2 「はいぱーワークブック」を開く

「はいぱーワークブック」(以降 HWB と略す) は「情報処理」の自習教材である。この授業では、計算機システムの操作方法は、主に HWB を参照しながら習得することになっている。

この HWB を開くには、以下の 2 つの方法がある:

1. 画面の一番下に色々な絵が並んでいる。その中に「HWB」と書かれた階段状の絵があるはずである。それをクリックする。しばらくすると「はいぱーワークブック」と書かれたウインドウが開く。(HWB7.1)
(クリッする — マウスをすべらせるとそれに連動して画面上の矢印が移動するので、矢印を「HWB」と書かれた絵の上まで移動させる。次に、マウス自体は動かないように気をつけながら、2 つあるボタンの左を短く押し離す。)
2. 別の方法としては、画面の一番下に色々な絵が並んでいる中に方位磁針のような絵があるので、それをクリックする。しばらくすると、「東京大学情報基盤センター 教育用計算機システム」と書かれたウインドウが開く。その中に「はいぱーワークブック」と下線付きて書かれている部分をクリックする。

1.3 基本操作を知る

HWB の必要部分を読んで、基本操作を習得する。

- 1 章「全体の概要」に HWB の簡単な読み方がある。
- 隣の席の人がログインするのに苦労している場合は、4 章「まず使ってみよう」を見て助けてあげる。
- マウスやキーボードの使い方に自信がない場合は、6 章「マウスとキーボード」を読む。とりあえず、マウスのクリック、画面のスクロール、アルファベットの入力ができるようになればよい。
- 7 章を読んで HWB の構成や、ページのたどり方などを知っておく。(重要!)

1.4 授業情報の所在を確認する

この授業に関する情報は HWB 同様、オンラインで見ることができる。

1. HWB の画面から、家の形をしたボタンをクリックする (HWB10.3.1)
2. 情報基盤センターのページが表示されるので、画面左側の「講義用 WWW サーバー」をクリックする。
3. 「登録済の先生」が表示されるので、下の方にある「増原先生」をクリックする。
4. 増原の「担当授業」のページが表示されるので、2005 年度の「情報処理」をクリックする。
5. 表示されたページが、この授業のページである。
6. HWB10.3.7 を読んでブックマークに登録しておく。

1.5 アンケートに答える

履習者に関する調査を行っているので、オンラインで答える。答えられない場合のみ、紙で回答してレポートボックスに提出してもよい。

1. 授業のページの中に「「情報処理」履習者に関する調査」と書かれた所があるので、そこをクリックする。
2. CFIVE と書かれたページが開き、「ログイン」情報を求められる。情報基盤センターのアカウント情報を、ユーザ名・パスワードの欄に入力し、「ログイン」ボタンをクリックする。
3. ユーザ名とパスワードが正しければ、「テスト一覧」というページが表示される。「「情報処理」履習者に関する調査」をクリックする。
4. A～N までの質問に、丸いボタンをクリックして答える。「次へ」ボタンをクリックすると、先へ進む。
5. 全ての質問に答えたら、「提出」ボタンをクリックする。(やり直しがきかないので注意。)

1.6 余力がある場合

- HWB6.2.4 タイピングの練習
- HWB9 日本語の扱い
- HWB15 エディタ (15.2 は飛ばしてよい)

1.7 ログアウトする

HWB4.2 章を読み、手順を覚えてから実行する。